

令和 2 年 3 月 1 7 日

各委員 様

田 辺 保 健 所 長
(和歌山県地域医療構想(田辺保健医療圏構想区域)調整会議 議長)

和歌山県地域医療構想(田辺保健医療圏構想区域)調整会議の書面による
開催について

平素より保健医療行政の推進に格別の御協力を賜り、ありがとうございます。

先日ご連絡させて頂きましたとおり、新型コロナウイルス感染症に対応するため、3月12日に予定していた当圏域の調整会議を中止させて頂きました。

しかしながら、厚生労働省による公立・公的病院の再編・統合の要請や医療法改正による当調整会議設置要綱の改正といった喫緊の課題に対応するために、書面による開催をお願いいたします。

御手数ですが、別紙1の議案概要及び添付の資料をご参照頂き、決議用紙(別紙2)にて皆様のご意見を頂きたいをお願いします。

なお、頂戴した意見については、事務局にて当調整会議の議事結果としてとりまとめ、みなさまにご確認頂きます。

その後、県庁医務課へ送付し、和歌山県ホームページにて公開させて頂きますので、ご了解下さい。

記

1. 期 間 令和2年3月17日(火)～令和2年3月27日(金)
2. 議 題 第1号 公立・公的病院に係る「再編・統合」の検討要請について
第2号 設置要綱の改正について
3. その他 別添の決議用紙に記入のうえ、返信用封筒にて送付下さい。

(お問合せ先)

田辺保健所 総務健康安全課

担当者 岡野

TEL 0739-26-7933

FAX 0739-26-7935

**令和元年度第2回和歌山県地域医療構想
(田辺保健医療圏構想区域) 調整会議 (書面による開催)**

(期間) 令和2年3月17日(火) ～ 3月27日(金)

・ 議題

第1号 公立・公的病院に係る「再編・統合」の検討要請について

昨年9月26日に厚生労働省が「診療実績が特に少ない」「診療実績が類似している病院が近隣にある」と位置づけた全国424の公立・公的病院を公表しました。(資料1参照)

田辺保健医療圏では国保すさみ病院が含まれており、厚労省からは、地域医療構想調整会議の場において、当該病院の「再編・統合」について再検討の要請がなされました。

当圏域の調整会議においては、地域医療構想に基づいた、将来のあるべき医療体制の実現に向けて、各委員において活発な議論と委員相互の理解のもと取組を進めて来ました。その中において、国保すさみ病院から、将来の移転とダウンサイジングについて説明がなされ、調整会議としての確認を行ったところです。

今般の要請について、国保すさみ病院ではその要請に対する意見と取組状況について所感を述べて頂いております。(別紙3)

国保すさみ病院の取組状況に関しては、過去に確認した事項ではありますが、厚労省の要請を受け、再度、当圏域としての確認をお願いするものです。

第2号 設置要綱の改正について

医療法改正により、「外来医療提供に係る医療提供体制に関する協議の場」として、当調整会議で当該協議を行うことが可能とされているため、設置要綱の改正をお願いしたいものです。(資料7参照)

/////////
〔 添付資料 〕

【資料1】 公立・公的病院に係る「再編・統合」の検討要請について

【資料2】 田辺保健医療圏の病床機能の現状について

【資料3】 令和元年度(平成31年度)の病床機能転換について

【資料4】 令和元年度病床機能報告(速報値)について

【資料5】 病床転換等に係る補助制度について

【資料6】 「再編・ネットワーク化事業」について

【資料7】 設置要綱の改正について

【参考資料1】 厚生労働省ホームページ掲載「地域医療構想の実現に向けて」

【参考資料2】 非稼働病床に関する対応方針等について

調整会議委員 決議用紙

(書面による会議:令和2年3月17日(火)～令和2年3月27日(金))

第1号議案 公立・公的病院に係る「再編・統合」の検討要請について

国保すさみ病院の考える方向性について	賛 否	
	1 同意する	2 同意しない

※ 数字を○で囲んでください。

(本議案に関するご意見)

第2号議案 設置要綱の改正について

和歌山県地域医療構想(田辺保健医療圏構想区域)調整会議設置要綱の改正について	賛 否	
	1 同意する	2 同意しない

※ 数字を○で囲んでください。

(本議案に関するご意見)

令和2年3月 日

委員氏名 (署名)	
--------------	--

公立・公的医療機関に係る「再編・統合」の要請に係る 意見及び検討状況について

国保すさみ病院

(1) 意見

当院は、白浜町から串本町の間に位置する広大な面積のすさみ町を中心に、一次及び二次救急を受け持つ唯一の医療機関として、地域医療に取り組んできました。

地域医療構想策定後は、田辺保健医療圏の調整会議の場で、当院の検討状況（後述）を報告し、関係者相互の理解のもと、議論を進めてきたと考えています。

それらの経緯を踏まえず、厚生労働省が唐突に公表を行い、町民をはじめ、地域住民に大きな不安を与えたことは、とても残念なことであったと考えています。

(2) 検討状況

町内人口の減少を背景に、適正規模へのダウンサイジングと地域包括ケアシステムの構築において、当院に求められる機能を検証しています。

施設の老朽化と地震及び津波対策の観点から、2023年度を目安に移転建築の計画があり、そのタイミングでのダウンサイジングの方向であります。

それまでの間は、現行の機能と病床数を維持し移転建築時には、住民のコンセンサスを得つつ、現行より40床～50床程度の縮小を考えています。

また、災害医療支援病院として、引き続き救急医療にも対応する一方、当院周辺の地域性を鑑みて、回復期も視野に入れた病床機能を担うことを考えています。

今後、当院の担う機能や規模について、この調整会議において、報告させて頂きながら進めていきたいと考えています。